

平成30年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 西門司 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成30年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

- (1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

- (2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

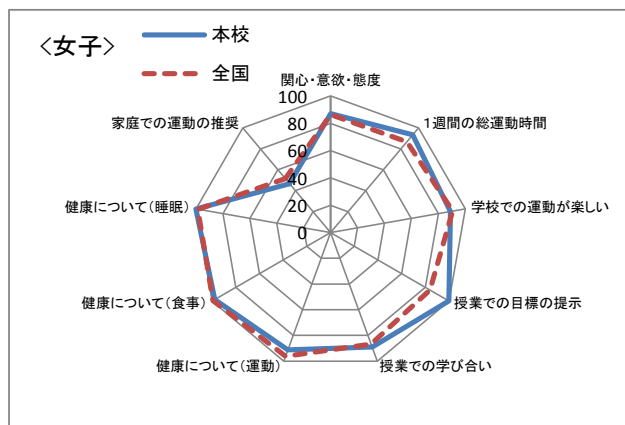
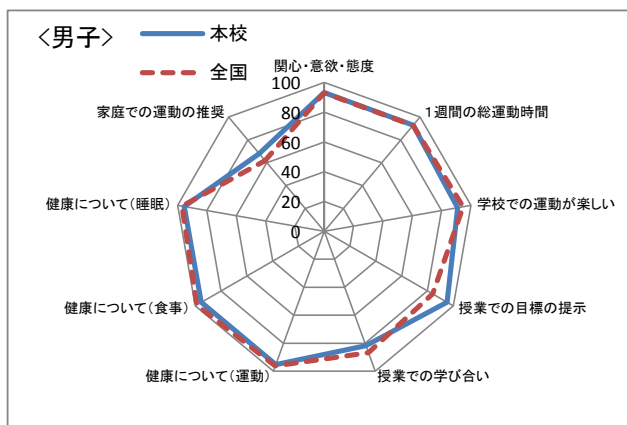
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.54	19.95	33.31	42.10	52.15	9.37	152.24	22.15	54.21
本市	16.69	20.49	33.79	42.59	55.22	9.38	154.29	23.74	55.23
本校全国平均以上の種目			○		○			○	

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.15	18.96	37.62	40.32	41.88	9.60	145.94	13.77	55.90
本市	16.24	19.41	37.96	40.62	44.39	9.61	147.43	13.93	56.64
本校全国平均以上の種目			○		○				

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

本年度の本校の「めあて・まとめ・振り返りの提示」については、「示されている」「ときどき示されている」をプラス評価とすると、男女の割合の合計で表すと全国と比べ上回っている。

本年度の本校の「話し合い活動」については、「行っている」「ときどき行っている」をプラス評価とすると、男女の割合の合計で表すと本市と比べ、上回っている。

体育科の授業の中で、チームや個々の課題に応じた「話し合い活動」が行われたり、単元の中で「話し合い活動」を充実する軽重を付け、運動量の確保を行ったりすることができた。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- 各担任が、日々の体育科の授業に関して、目標の提示を行い、見通しを明らかにする。
- 各担任が、体育科の授業の中で運動量の確保を行いながら、「話し合う活動」を取り入れ、児童相互が交流し、理解を深めたり経験を共有したりする。
- 全教職員で体育科実技研修会を実施し、具体的な指導法を学び、授業力の向上を図る。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

- 体力向上担当、体育委員会が中心となり、15分休みを利用して、「5分間走」「長縄跳び」を実施している。クラスの仲間意識を育てながら、児童の体力向上を図る。